

## プレス発表資料(お知らせ)

平成19年12月11日

独立行政法人防災科学技術研究所

### 「火山灰の健康影響-地域住民のためのしおり-」と「降灰への備え-事前の準備、事後の対応-」刊行について

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長:岡田義光)は、火山噴火で発生する火山灰への対応を解説したパンフレット「火山灰の健康影響-地域住民のためのしおり-」と「降灰への備え-事前の準備、事後の対応-」を刊行いたしました。

どちらのパンフレットも、国際火山災害健康リスク評価ネットワーク(IVHNN)、国際火山学地球内部化学協会の都市火山委員会、ニュージーランド地質・核科学研究所(GNS Science)ならびに米国地質調査所(USGS)が共同で作成した英語版のパンフレットを翻訳したものです。両方とも16ページです。

「火山灰の健康影響-地域住民のためのしおり-」では、火山灰に関して懸念される健康への影響や、火山灰が降ったときに自分自身や家族を守るための方法を説明してあります。「降灰への備え-事前の準備、事後の対応-」では、火山灰が降るといふ予報が出されたときに従うべき手順や、降灰中にすべきこと、降灰後に火山灰を清掃する最も効率的な方法について説明してあります。

**翻訳者:** 独)防災科学技術研究所 火山防災研究部 研究員 石峯康浩

**出版者:** 独)防災科学技術研究所 火山防災研究部

**出版日:** 平成19年11月1日

**入手方法:** 当研究所と山梨県環境科学研究所が主催するワークショップ「火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ2007」(12月16日13:30~山梨県環境科学研究所、12月18日9:30~防災科学技術研究所)の出席者(定員計330名、事前登録制)に当日配布致します。

先着100名様に一部ずつ差し上げます。メールまたはFAXにて(1)氏名(2)所属(3)住所(4)電話番号(5)メールアドレスをお知らせの上お申し込み下さい。

ishimine@bosai.go.jp FAX 029-851-5658

(お寄せ頂いた個人情報は本件に関する連絡以外には使用致しません)

下のホームページからPDF版をダウンロードできます。

<http://www.bosai.go.jp/library/publication.htm>

本件配布先: 文部科学記者会、科学記者会、つくば研究学園都市記者会

#### 【内容に関する問い合わせ先】

独立行政法人防災科学技術研究所  
火山防災研究部 石峯康浩

TEL: 029-863-7521

FAX: 029-851-5658

#### (連絡先)

独立行政法人防災科学技術研究所  
企画部広報普及課成果普及係

佐竹、山科

TEL: 029-863-7783

FAX: 029-851-1622